

科目名	生物の多様性	
担当者	横峯 孝昭 / YOKOMINE, Takaaki	
科目情報	教養科目3群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
	学芸員科目 / 選択	
科目概要	授業内容	地球上に生命が誕生してから三十数億年。進化しながら現在200万以上に種分化している。あらゆる生物種。それによって成り立っている生態系さらに生物が過去から未来へと伝える遺伝子として今わせた概念としての生物多様性を理解していきたい。
	到達目標	生物の多様性を分類学的・生物地理学のおよび生態学的に学習することにより、種が千差万別でありながらも相互依存関係にあることを理解できるようになる。
授業計画	(1) 鹿児島特有の生物について（絶滅という概念から） (2) 種と生物① (3) 種と生物② (4) 種と生物③ (5) 生物と無生物の違い (6) 生物の特徴を決めるもの① (7) 生物の特徴を決めるもの② (8) 生物の特徴を決めるもの③ (9) 生物の分類① (10) 生物の分類② (11) 生物の分類③ (12) 生物と生物の相互作用① (13) 生物と生物の相互作用② (14) 生物と非生物の関係 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	中学校までに学んだ理科の内容（生物）について一般教養としての知識を見直すこと。
	事後学習	ノート＝教科書となるので、前回のノートを1回は見直すこと。ノートの書き方等自ら考えること。
使用教材・参考文献	【参】伊藤嘉昭著「生態学と社会」1994年 東海大学出版会 ISBN9784486012726 【参】栗太子郎著「多様性生物学入門」1997年 東海大学出版会 ISBN9784486014027	
成績評価方法と基準	<基準>暗記ではなく、そのしくみや関係が理解できたものは合格とする。 <方法>終了試験により評価する。	
備考	教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味する。詳細は、講義中に説明する。	